



三春中学校だより

特集号

発行日 平成30年 7月20日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 FAX 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【ありがとうございます。おかげさまで、たくさんの方々に支えられて！～】

夏休み前日集会を翌日に控えた19日(木)、いつものように校門で登校してくる子どもたちをむかえていると、目の前にはいつもとかわらぬ光景がありました。スクールバス、給食食材搬入の『サト一くん』、お世話になった野球場、その中を子どもたちが鞆を背負って登校し、グラウンドでは、特設駅伝部の子どもたちが、顧問の先生方と共に、暑さの中、練習に励んでいました。

たくさんの方々に支えられ三春中学校や子どもたち、教職員があると改めて感謝の気持ちがありました。平成30年度の4ヶ月間、ありがとうございます。これからもよろしく願います。



明日から夏休み！子どもたちは学校生活を“安全・安心”に過ごせたでしょうか。第1号で、『皆勤賞』のお話をしました。皆勤賞は、登校しただけではなく、学校が準備した教育課程に取り組んだと判断される者に与えられる賞です。どのくらいの生徒のみなさんが欠席「0」で過ごせたでしょうか。どの子どもたちもよくがんばりました。そこで、今回はこれまでを振り返り、子どもたちの『命の輝き』を特集いたします。

【安心して任せられます！～すばらしい子どもたちや先生方と共に。～】

4月5日(木)は、翌日に控えた平成30年度の入学式会場・会場準備の日でした。3年生は体育館の式場作成を中心に、2年生はそれ以外の会場作成を中心に取り組みました。感心しました。



【ここにも美しい花々が。～校長室掃除の4人の心に『命の輝き』！～】

4人の1・3年生と一緒に、今日も校長室掃除をしました。この子どもたちは、他の学校生活でも、お手本となるきちんとした生活ができています。朝のあいさつでは、相手にきちんと正対して、両足をそろえてあいさつしています。晴れの日も雨の日も、自転車でがんばって登校しています。部屋に入るときには、「失礼します。」、出るときには、「失礼しました。」と言って出入りしています。

【努力、協力、練習、本番！

～体育フェス、楽しみました。がんばりました。～】

体育の時間、子どもたちは、集団行動の練習にはじまり、体育フェスティバルの種目の練習にみんなで行っています。持ち味と役割を發揮しました。



【ひたむきに、そして、こころ豊かに！～三春中生のがんばりが支部陸でも見られました。～】

5月10日(木)は、田村支部中体連陸上競技大会の日でした。本校よりは、70名を超える選手や補助員、そして、競技役員の先生方が参加しました。開会式への参加態度、競技にひたむきに取り組む選手のがんばり、補助員として大会をバックアップした生徒の姿、どれをとっても、三春中学校の名をさらに高めるほどの姿を多く見ることができました。



【『信頼』とは！～たくさんの方々の「信頼関係」が見られます。～】

ある日の朝、校門で子どもたち一人ひとりを迎えているときのこと、ある男子生徒から、「校長先生、フェンスが曲がっていますよ。」という言葉。確認してみると、フェンスと支柱をつなぐ留め金がありませんでした。すぐに佐久間さんが修繕。信頼感はさらに深まりました。



【子どもたちの心の安定度は？ ～トイレと雑巾掛の様子でわかることもあります。～】

田村支部中体連総合大会を1週間後に控え、先日の生徒指導・いじめ根絶委員会で、気になる情報がでました。女子トイレの使い方に課題があるということでした。雑巾掛けの雑巾は、いつもどおり、とても整えられています。トイレは、たまたまなのか、使う人の心に何か不安なことがあるのか、注意しながら見ていきたいと思えます。



【低音の元気な声。「おはようございます。」

～昇降口前でのあいさつ運動～】

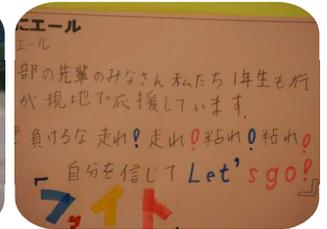
校舎の方から、低音の響く声で、元気に、「おはようございます。」の声が聞こえてきます。何だろうと振り返ってみると、生徒が一列に整列し、登校してくる一人ひとりの生徒に、あいさつをかけている姿が見えました。

あいさつは、人と人をつなぐもの。相手の存在を認め、仲間意識を醸成し、社会の一員として共に生活していこうという気持ちを表します。そう難しく言わなくとも、単純に、人は、あいさつされれば気持ちがよくなります。三春中生のすばらしい姿です。



【『思いやり・学習訓練・認め・励ます・責任・基本的生活習慣』～大切にします。～】

先生方のさまざまな働きかけや生徒同士の学び合いを通して、互いに磨き、高め合いながら、たくさんの方が学ばれる場が三春中学校です。やがて子どもたちが社会の中で信頼され、主体的に生き、充実感や自己存在感をもって立派な社会人として生活できることをめざして。



【生徒会執行部のみなさん、ありがとう！～突然の雨に～】

先日、梅雨空の中、突然、雨が降り出しました。ふっと外を眺めると、2人の生徒さんが自転車置き場の前を走っていました。どうしたんだろうと行き先を追ってみていると、二人は掲揚台に向かっていました。そして、雨の中、校旗を急いで降ろしてくれました。気がつく人、責任感、すばらしい。



【共に『創る』！～吹奏楽、合唱、本番にむけ共に創りあげます。～】

吹奏楽部の各教室等でのパートごとの練習を巡って歩くと、各所で話し合う姿が多くみられ、自分たちで話し合い、よりよい音楽をめざしている様子うかがえます。合唱も同様、女子生徒1人を男声パートが取り囲み、話し合ったり聴き合ったりして練習していました。楽譜は一つであったとしても、演奏に関しては、それぞれのチームの特長が出てくるそうです。まさに、自分たちで音楽を『創る』ということでしょう。三春中学校の『聴き合い・学び合い』の精神は、部活動にも脈々と流れていました。



【落ち着いた生活はHBにも！～きれいに整えられたロッカーを見ることができます。～】

各学年を巡って歩くと、「うわあー。」と思うことがたびたびあります。悪いことではなく、とてもすばらしい環境に、たびたび出会うことができるのです。ロッカーの中にきちんとしまわれた鞆とファイル類。公共の場の使い方です。

